

ひがしうらから 平和への願い

非核平和宣言のまちとして



提供：広島平和記念資料館 撮影者：US Army

東浦町は、核兵器や戦争のない平和な世界を願い、1995年に非核平和宣言をしています。



日本では戦後80年を迎える今、世界ではロシアによるウクライナ侵攻開始から3年が経ち、未だに収束の目途が立ちません。また、イスラエル・パレスチナ情勢によって世界はますます混迷を極め、戦禍により多くの人々の尊い命や日常が奪われています。戦争は決して他人事ではありませんが、戦争の直接的な体験を語る人は少なくなってきました。

戦争を知らない世代に戦争の記憶を継承していくため、戦後80年という節目である今年、町内の小学6年生が広島平和記念公園や原爆ドーム等を見学し、原爆の恐ろしさ、平和の大切さを学ぶ国内研修の研修報告を役場で展示します。

東浦町は引き続き、戦争の悲惨さや核の恐ろしさを伝え、平和への想いを次世代に継承するため、核兵器廃絶や平和行政の推進に取り組んでいきます。

東浦町の平和／

被爆アオギリ2世、被爆クスノキ2世を知っていますか？

被爆アオギリ

1945年8月6日、広島市に原子爆弾が落とされ、爆心地から約1.3キロメートルの広島通信局（現在の中国郵便局）の中庭で被爆しました。爆心地側の幹半分が熱線と爆風により焼けてえぐられましたが、焦土の中、青々と芽を吹き返し人々に生きる希望を与えました。

被爆クスノキ

1945年8月9日、長崎市に原子爆弾が落とされ、爆心地から約800メートルの山王神社の2本のクスノキは、強烈な熱線とすさまじい爆風により大きな被害を受けました。一時、生存も危ぶまれましたが、その後、樹勢を盛り返し、現在は長崎市の天然記念物に指定されています。

2本の被爆2世の木が於大公園に

2002年に町が「日本非核宣言自治体協議会」へ加盟したことをきっかけに「日本非核宣言自治体協議会」から2本の被爆2世の苗木をいただき、於大公園内に植樹しました。



被爆アオギリ2世



被爆クスノキ2世



非核・平和パネル展

戦争と原爆の悲惨さや生命の尊さを後世に伝えるために「非核・平和パネル展」を開催します。核兵器のない平和な社会について考えてみませんか。期間中、役場1階ロビーに折り鶴ボックスを設置します。平和への思いを込めて作られた折り鶴は、広島市の平和記念公園内の「原爆の子の像」に献納します。ご自宅で折った鶴をお持ちください。



●とき 8月1日(金)～29日(金) ●ところ 中央図書館、役場(1階ロビー)

問い合わせ 行政課 内線244